

研究部

1 目 標

義務教育学校において、全職員で育てたい児童生徒像を共有し、9年間の系統的な指導や学びの在り方についての研究を推進する。

2 今年度のゴール

- ①核となる体験活動と各教科との関連をもたせた年間計画の作成
- ②キャリア教育で育てたい力の評価（見取り方法）についての研究
- ③本校独自のキャリアパスポートの作成及び活用推進

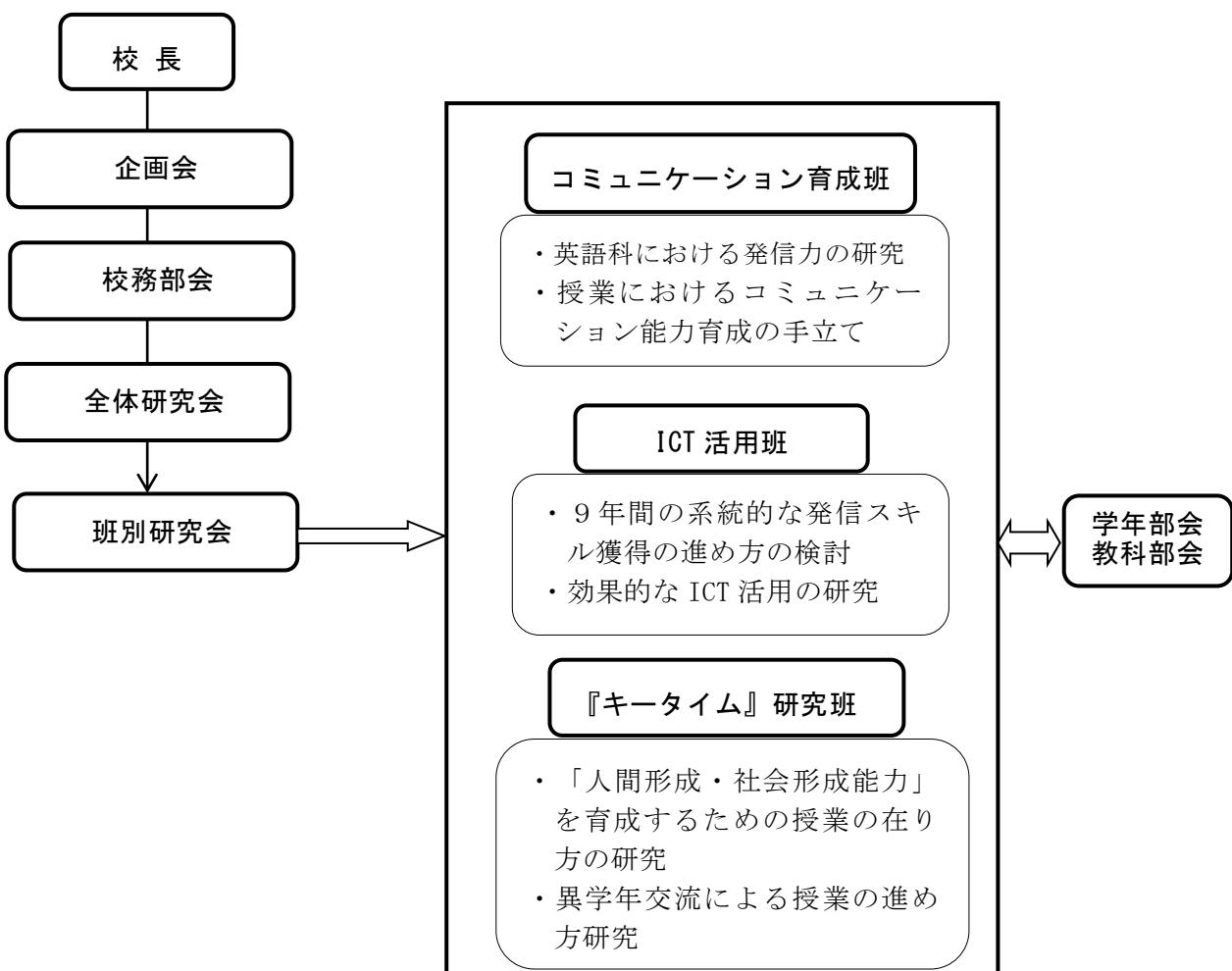
3 活動内容

- ①主題研究推進
- ②核となる体験活動と各教科等との関連をもたせた年間計画の作成
- ③身に付けるべき力の評価の在り方の研究
- ④本校の実態に沿ったキャリアパスポートの作成・活用推進
- ⑤キャリア通信発行
- ⑥ICT活用の推進

4 年間計画

5～6月	・昨年度のアンケート結果を児童生徒に説明し、身に付けたい力についての理解を図る。 ・各班での研究内容検討
7～8月	・各班での研究内容決定・実施に向けた準備・職員の共通理解
9月～12月	・各班での研究内容実施・振り返り ・核となる体験活動を中心とした、各教科等との関連をもたせた年間計画の作成
1月	・今年度の実施内容報告
2月	・研究のまとめ 来年度の研究計画構想

研究組織（案）



5 総合的な学習の時間「キータイム」全体計画

【学校の教育目標】

ふるさと木城を愛し 目標をもって主体的に学び 思いやりとやさしさのある
心身共にたくましい児童生徒を地域と共に育成する

【本校における総合的な学習の時間の目標】

知識・技能	ふるさと木城の魅力や課題、その要因などを探究するための適切な課題の設定やその解決に必要な情報を収集・分析するために必要な技能を習得し、活用することができる。
思考・判断・表現	課題解決に必要な様々な情報を関連付けたり、分析したりしながら、根拠に基づく考察や判断をし、その結果を適切に表現できる。
主体的態度	主体的な対話や協働を通して自分の考えを深め、地域等から学んだことを踏まえて、将来の自己実現や生き方について考えることができる。

ステージ 及び学年		総合的な学習の時間・生活科の学び 及び核となる体験活動	体験活動の学習サイクル [RARK]
第Ⅰステージ	1年	*学校探検（2年生との交流） *地域との交流（梅ジュース作り・秋のおもちゃ作り・昔の遊び）	Readiness(既存知識・経験) ☆自分が何を知っているか ☆どんなことを経験しているか ☆疑問に思うことは何か ☆何を知りたいか、学びたいか ☆事前に調べたこと
	2年	*地域施設探検 (リバリスト・役場・商店街・福祉施設)	
	3年	*地域自然探検 (川原公園・小丸川・ダム・オニバス)	
	4年	*地域伝統体験 (比木神楽・中之又神楽・盆踊り) *美郷南学園との交流	
第Ⅱステージ	5年	*地域農業体験（田植え・稻作・稻刈り） *地域との交流（農業・林業・畜産業・福祉を学ぶ）	Activity(挑戦・解決) ☆活動する、やってみる ☆調べたことを確かめる ☆疑問点・知りたいこと・学びたいことについて質問する ☆わかったこと、経験したことをまとめていく
	6年	*地域の歴史を学ぶ（古墳・史跡・偉人） *地域の学びを発信（他校・修学旅行）	
	7年	*上級学校及び地域の職場見学 *地域を語る会I（福祉の視点で地域を見直し、自分の地区でできることを考える）	
第Ⅲステージ	8年	*修学旅行（木城会との交流） *職場体験学習（福祉施設を含む）	Review(学びのまとめ・批評) ☆何がわかったか ☆何を学んだか ☆疑問は解決したか ☆さらに疑問に思ったことはないか
	9年	*企業と語る会（職場体験の学びを活かす） *地域を語る会II (地域と連携した活動～地域でできることを発信し、実践する～)	Keep Learning(学びの持続) ☆学びは自分にとってどのような価値があったか ☆地域と自分とのつながりはどう変化したか ☆これからの学びへのつながり

各教科等	特別活動	校内研究
○学びに向かう力 ○探究に必要な知識・技能 ○情報や知識を活用する力 ○郷土愛、伝統文化尊重 ○社会参画、勤労 ○向上心、個性伸長 など	一人一人のキャリア形成と自己実現に向け、総合的な学習の時間で学んだことをもとに自分の生き方等を考えさせる。	○英語科における発信力の研究 ○授業におけるコミュニケーション能力の育成 ○9年間の系統的な発信スキルの獲得 ○効果的なICT活用の研究 ○「人間形成・社会形成能力」を育成するための授業の在り方 ○異学年交流による授業の進め方 など

6 ふるさと・キャリア教育の全体計画

学校の教育目標					
ふるさと木城を愛し 目標をもって主体的に学び 思いやりとやさしさのある 心身共にたくましい児童生徒を地域と共に育成する					
児童生徒の実態					
<ul style="list-style-type: none"> ・言われたことには素直に取り組むが、自ら積極的に取り組む姿勢には課題が見られる。 ・学習に対する関心はあまり高くなく、将来と今の学びとのつながりを考える意識をもたせる必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・町内唯一の学校であり、地域住民の期待は大きい。 ・強い意志をもち何事も最後までやり抜く児童生徒 ・思いやりがあり、人間愛にあふれた児童生徒の育成 			
キャリア教育の目標					
将来の社会貢献や自己実現に向けて努力することができる力や態度を育成するためのキャリア教育を推進する。					
キャリア教育を通して育てたい力					
第Ⅰステージ (1~4年)	1 人間関係形成・社会形成能力	2 自己理解・自己管理能力	3 課題対応能力		
	他者とうまくやっていく力 【合意形成力】 相手のことを理解しようと努めながら、自分の主張もする中で、相手と折り合いを付けたり、合意形成したりすることができる。	自ら考え行動しようとする力 【考動力】 失敗を重ね、得た学びを次に活かしながら自分に自信を付けていき様々なことにチャレンジする。	自分で課題を見つけ、粘り強く解決しようとする力 【やり抜く力】 常に問い合わせながら自分で考え自分なりの答えや解決方法を見出していくこうとする。		
	自分の考えや思いを適切な言葉で他者に伝えようとする。 相手の話を聞きながら、相手のこと理解しようとする。	日々の活動や係活動に友達と共に進んで取り組む。 自分のよさや得意など、様々な体験から自己理解を進める。	身近な社会(家庭・学校・地域)を知り、関心をもって理解を深める。 自分が調べたことや考えたこと、思いなどを他者にわかりやすくまとめ、伝えようとする。		
	【1の具体的姿】 あいさつを返すことができる。 自分からあいさつをすることができる。 気持ちのよい返事ができる。 素直な気持ちでお礼の言葉を言える。 友達のよさを見つけることができる。		【2の具体的姿】 自分の好きなことや得意なことを見つけることができる。 自分の言動を振り返ることができる。 学級や学校のきまりを知り、守って生活ができる。 自分の苦手なことがわかり、それを克服しようと努力したり、周りに助けを求めようとする。		
	他者の考え方や思いを理解しようと聞いて聞いたり、他者の考え方を取り入れたりしながら、自分の考え方や思いをもつ。 自分の考え方や思いを相手にわかるように伝える。	自分の強みを活かし、日々の活動や係活動に進んで取り組む。 活動の中でうまくいったこと、いかなかつしたことについて分析し自分には何が必要かを考えて実践しようとする。	身近な社会(家庭・学校・地域)の実態を知り、よさや課題を見いだす。 自分が課題と捉えたことを根拠をもとに伝え、その解決方法について考える。		
	【1の具体的姿】 一人でも、いつでも、どこでも自分から先にあいさつができる。		【2の具体的姿】 自分の強みを理解し、自分の役割を発揮することができる。 自分で課題を見つけ、自分が何をやるべきかを考えて行動することができる。		
	他者の考え方や思いを理解しようと聞いて聞いたり、他者の考え方を取り入れたりしながら、自分の考え方や思いを構築する。 自分の考え方や思いを他者に伝え、相手の考え方も聞きながら様々な視点から意見交換をする。	自分に何ができるか、自分は何がしたいかを考えて自分のもっている力を活かして活動する。 課題と自分との関係を問い合わせながら、主体的にチャレンジし続ける。	身近な社会(家庭・学校・地域)の課題に気付き、他者と語り合い、自分の考え方や思いを伝える。 自己の課題に対する取組や必要な方法について自分で考え、実践していく。		
	【1の具体的姿】 最高学年・ステージであることを意識し、伝統をつくる。 自分たちを客観的に見ることができる。 広い世界との接点を意図的にもつことができる。 相手が自分の言動をどう受け止めるかをよく考える。		【2の具体的姿】 集団の中で、自分のるべき姿を判断し、行動する。 集団の中での課題と自分との関係を問い合わせる。 個人の課題(自分は～ができない)と自分(なぜなら～)との関係を問い合わせる。 集団の中で何ができるか、自分は何がしたいかを考えて、自分もっている力を発揮して行動できる。 最上級生の様々な姿を見て、下級生が憧れを抱けるような「自分」をつくっていく。		
キャリア教育を推進する基盤					
学校教育全体を通じた9年間の系統的な取組：各教科・特別活動・総合的な学習の時間「キータイム」と関連させた教育活動の展開。 家庭との連携：キャリア通信等による学校からの情報発信に努め、共に子どもの職業的・社会的自立を支援する。キャリアパスポートの活用。 地域との連携：地域の教育資源や人材を的確に把握し、その積極的な活用を図り、共に子どもの職業的・社会的自立を支援する。					

7 特別活動全体計画

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">学 校 の 教 育 目 標</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">ふるさと木城を愛し 目標を持って主体的に学び 思いやりとやさしさのある 心身ともにたくましい 児童生徒を地域と共に育成する</td></tr> </tbody> </table>				学 校 の 教 育 目 標				ふるさと木城を愛し 目標を持って主体的に学び 思いやりとやさしさのある 心身ともにたくましい 児童生徒を地域と共に育成する																		
学 校 の 教 育 目 標																										
ふるさと木城を愛し 目標を持って主体的に学び 思いやりとやさしさのある 心身ともにたくましい 児童生徒を地域と共に育成する																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">目 指 す 子 ど も 像</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">ふるさとを愛し、大切にできる子ども 自ら学び、考え、行動し、学び合うことができる子ども やさしく思いやりがあり、あいさつのできる子ども 心と体を鍛え、心身ともに元気な子ども</td></tr> </tbody> </table>				目 指 す 子 ど も 像		ふるさとを愛し、大切にできる子ども 自ら学び、考え、行動し、学び合うことができる子ども やさしく思いやりがあり、あいさつのできる子ども 心と体を鍛え、心身ともに元気な子ども																				
目 指 す 子 ど も 像																										
ふるさとを愛し、大切にできる子ども 自ら学び、考え、行動し、学び合うことができる子ども やさしく思いやりがあり、あいさつのできる子ども 心と体を鍛え、心身ともに元気な子ども																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">特 別 活 動 の 目 標</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: left; padding: 5px;">集団や社会の形成者としての見方・考え方を働きかせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。</td></tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: left; padding: 5px;">1 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 2 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようとする。 3 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</td></tr> <tr> <th rowspan="2">目 標</th><th>学 級 活 動</th><th>児 童 生 徒 会 活 動</th><th>学 校 行 事</th><th>ク ラ ブ 活 動</th></tr> <tr> <td style="text-align: left;">学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</td><td style="text-align: left;">異年齢の児童・生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るために諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</td><td style="text-align: left;">全校又は学年の児童・生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</td><td style="text-align: left;">異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立て運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</td></tr> <tr> <th rowspan="2">内 容 ・ 組 織 ・ 運 営 に つ い て</th><th rowspan="2">(1) 学級や学校の生活づくりへの参画 ○学級や学校における生活上の諸問題の解決 ○学級内の組織づくりや役割の自覚 ○学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ○基本的な生活習慣の形成 ○よりよい人間関係の形成 ○心身ともに健康で安全な生活態度の形成 ○食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ○現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 ○社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ○主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用</th><th rowspan="2">(1) 児童・生徒会組織づくりと活動の計画や運営 (2) 异年齢集団による交流 (3) 学校行事への協力 ○各種専門委員会活動 ○お別れ行事</th><th rowspan="2">(1) 儀式的行事 ・始業式 ・終業式 ・入学式 ・卒業式 ・修了式 (2) 文化的行事 ・鑑賞教室 ・合唱コンクール (3) 健康安全・体育的行事 ・交通安全教室 ・運動会 ・避難訓練 ・地震想定 ・火災想定 (4) 遠足・集団宿泊的行事 ・修学旅行 ・宿泊学習 ・遠足 (5) 勤労生産・奉仕的行事 ・大清掃</th><th rowspan="2">(1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表 ※第4～6学年が参加</th></tr> <tr> </tr> </tbody> </table>	特 別 活 動 の 目 標				集団や社会の形成者としての見方・考え方を働きかせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。				1 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 2 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようとする。 3 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。				目 標	学 級 活 動	児 童 生 徒 会 活 動	学 校 行 事	ク ラ ブ 活 動	学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童・生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るために諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	全校又は学年の児童・生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立て運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	内 容 ・ 組 織 ・ 運 営 に つ い て	(1) 学級や学校の生活づくりへの参画 ○学級や学校における生活上の諸問題の解決 ○学級内の組織づくりや役割の自覚 ○学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ○基本的な生活習慣の形成 ○よりよい人間関係の形成 ○心身ともに健康で安全な生活態度の形成 ○食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ○現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 ○社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ○主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	(1) 児童・生徒会組織づくりと活動の計画や運営 (2) 异年齢集団による交流 (3) 学校行事への協力 ○各種専門委員会活動 ○お別れ行事	(1) 儀式的行事 ・始業式 ・終業式 ・入学式 ・卒業式 ・修了式 (2) 文化的行事 ・鑑賞教室 ・合唱コンクール (3) 健康安全・体育的行事 ・交通安全教室 ・運動会 ・避難訓練 ・地震想定 ・火災想定 (4) 遠足・集団宿泊的行事 ・修学旅行 ・宿泊学習 ・遠足 (5) 勤労生産・奉仕的行事 ・大清掃	(1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表 ※第4～6学年が参加
特 別 活 動 の 目 標																										
集団や社会の形成者としての見方・考え方を働きかせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。																										
1 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 2 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようとする。 3 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。																										
目 標	学 級 活 動	児 童 生 徒 会 活 動	学 校 行 事	ク ラ ブ 活 動																						
	学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童・生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るために諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	全校又は学年の児童・生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立て運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。																						
内 容 ・ 組 織 ・ 運 営 に つ い て	(1) 学級や学校の生活づくりへの参画 ○学級や学校における生活上の諸問題の解決 ○学級内の組織づくりや役割の自覚 ○学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ○基本的な生活習慣の形成 ○よりよい人間関係の形成 ○心身ともに健康で安全な生活態度の形成 ○食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ○現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 ○社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ○主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	(1) 児童・生徒会組織づくりと活動の計画や運営 (2) 异年齢集団による交流 (3) 学校行事への協力 ○各種専門委員会活動 ○お別れ行事	(1) 儀式的行事 ・始業式 ・終業式 ・入学式 ・卒業式 ・修了式 (2) 文化的行事 ・鑑賞教室 ・合唱コンクール (3) 健康安全・体育的行事 ・交通安全教室 ・運動会 ・避難訓練 ・地震想定 ・火災想定 (4) 遠足・集団宿泊的行事 ・修学旅行 ・宿泊学習 ・遠足 (5) 勤労生産・奉仕的行事 ・大清掃	(1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表 ※第4～6学年が参加																						



8 情報教育

(1) 目標

- 児童生徒が、ICT 機器やネットワークを通じた情報の利用や活用する手立てに親しみ、技能を身に付けながら、適切な活用方法や情報化した社会との関わり方について習得する機会を充実する。

(2) 努力目標

- ICT 機器や環境の整備と充実を図り、機器等を保守、管理する。
 - 情報活用の実践力（機器の操作、入出力、検索、編集、プログラミング能力等）を高める。
 - 情報社会での適切な振る舞い方（情報モラル、生活習慣等）を身に付ける。

(3) 年間計画

4月	新年度への移行・機器の移動・IDの管理	10月	ICTに関する生徒への啓発活動
5月	ICT機器の使用についての案内	11月	
6月	情報モラル教育	12月	ICT研修
7月	情報機器の整理（備品調査）	1月	
8月	ICT研修	2月	ICT機器の回収・点検・整備
9月	ICT機器・環境等の希望調査	3月	ID等の管理

学校Webページ更新、遠隔会議ソフトの準備は随時実施。

(4) 具体的取り組み

①情報モラル教育 [情報モラル教育]

6月 5～9年「ネット安全教室」(外部講師)、1～4年 各学級での指導 [計画別途]
10・11月 ICTに関する生徒への啓発活動 [学級活動等で活用できる資料の提供]

②児童生徒用端末や機器の管理等 [ハード面]

児童生徒用端末や、教師用端末や周辺機器等の所在や故障等の状況を整理し把握する。

③ IDやアプリケーションの管理「ソフト面」

児童生徒や職員のクラウド上の学習支援ソフトや遠隔会議ソフト等の運用に関わる ID の発行や廃止、端末へのアプリケーションのインストールの管理を行う。

④ I C T 研修 「職員研修」

職員向けに校務や授業で活用できる具体的な知識や技能、情報社会での態度に関する研修を行う

※ LCT支援員との連携を図りながら業務を進めること

(5) 9年間を通して身に付けさせたいスキル

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
調査	五感を通し、大切な情報が何であるかわかる。	インタビューや写真撮影の仕方や活用方法を知る。インターネットで検索ができる。	インターネットを活用し、様々な情報を入手し、比較し、妥当性を検討しながら自分が必要な情報に絞り込んで調べることができる。	ネットワークを活用し、遠隔地の人々と交流し、情報を入手できる。					
整理	物事の類似点や相違点を指摘できる。	集めた情報を比較し、共通点や相違点を整理できる。	図や表、グラフなどを活用し、情報を整理することができる。	情報やデータの効果的な提示の仕方を考えながらまとめることができる。					
発信	自分の考えや思いを絵や文で表現できる。	スピーチや新聞などで分かりやすく相手に伝えることができる。	動画やプレゼンテーションをつくり、自分の考えを伝えることができる。	プレゼンテーション作成や動画編集を通して、外部に自分の考えを効果的に発信できる。					
モラール	人と関わるマナーを守る姿勢を身に付け、ネット上のマナーの基礎を築く。	相手の気持ちを考えたメッセージの伝え方を考えられる。	インターネット上の情報の妥当性を考えながら活用し、発信すべきことがら、そうではないことがらを区別できる。	インターネットの利便性と危険性を理解し、安全にネットワークを利用できる。					
スキル	<ul style="list-style-type: none"> ・PCの起動・終了 ・ブラウザの起動 ・ペイントソフト等の使用 ・文字の入力 (音声・タッチペン、ローマ字入力の導入) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザ ・デジタルカメラ(PCのカメラ機能) ・PCの録音機能 ・ワープロソフトとキーボードの活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフト ・プレゼンテーションソフト ・動画撮影ソフト 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議ソフト ・動画編集 					